

第三者評価結果の公表事項(児童養護施設)

①第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

②評価調査者研修修了番号

S 2 4 4 7 6 ・ S 1 6 0 5 6

③施設の情報

名称：児童養護施設 ひまわりの家	種別：児童養護施設	
代表者氏名：施設長 浅野 一雄	定員（利用人数）：20名（11名）	
所在地：西予市宇和町久枝甲 1429 番地		
TEL：0894-89-3112	ホームページ： http://www.seiyofukushi.com/	
【施設の概要】		
開設年月日 平成26年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 西予総合福祉会		
職員数	常勤職員：18名	非常勤職員：3名
専門職員	(専門職の名称) 名	
	社会福祉士1名	調理師2名
	保育士6名	教員免許7名
	幼稚園教員免許6名	管理栄養士1名
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	児童居室15室（小規模グループ ケア3ホーム・ショートステイ用 居室3室）事務室・応接室・親子 生活訓練室・相談室・心理室・調 理室・地域交流ホール	木造2階建て

④理念・基本方針

老人に生きがいを 障がい者には希望を 子どもには大きな夢を

児童憲章の精神と児童福祉法の理念に基づき、児童が安心して暮らせる環境を提供し、健全な社会の一員として明るくたくましく生きることのできる児童の育成。

⑤施設の特徴的な取組

施設全体以外のことは、小規模単位である「ホーム」で取り決め運営しており、必要に応じて臨機応変に職員と子どもが協議するなかで、極力子どもの意見や自主性を尊重した支援が図られている。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成28年11月24日（契約日） ～ 平成29年3月22日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	初回（平成28年度）

⑦総評

◇特に評価の高い点

社会福祉法人西予総合福祉会（以下、法人という）が運営する当施設は平成26年4月に、それまで運営していた社会福祉法人から譲渡され運営を開始し、平成28年4月から現在の所在地に新築移転した。

家庭的養護を推進するために施設は3つの「ホーム」に分かれている。小規模処遇の利点を活かして子ども一人ひとりの気持ちを尊重し、それぞれのホームで様々な工夫を凝らしながら養育・支援が行われていることは高く評価できる。

◇改善を求められる点

子ども、職員ともに小規模処遇という新たな経験が定着してきた段階にあるため、職員はもとより子どもも参画できるような評価・分析の仕組みづくりを検討し、今後も子どもの最善の利益を目指した養育・支援が行えるようさらなる取組みに期待したい。

また、その価値や意味を再認識するとともにそれらの文書化、マニュアル化や規則等の精査、整理、整備が望まれる。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

小規模グループケアに移行してから初めて自己評価を行い、また、第三者評価を受審いたしました。自己評価で見えてきた問題点とは別に、第三者評価の受審によってたくさんの気づきをいただけたことは、職員の意識を高めるためにも大変有効であると思っております。

今回の評価結果を生かすためにも、全職員が評価結果を共有し、問題意識を持って児童処遇に取り組み、子どもの最善の利益を目指したよりよい養育・支援の質の向上に努めたいと思います。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果（児童養護施設）

※すべての評価細目（共通評価基準 45 項目・内容評価基準 41 項目）について、判断基準（a・b・c の3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

共通評価基準（45 項目）

評価対象 I 養育・支援の基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 事業計画やパンフレットに記載し、職員には年度初めに配布している。児童や保護者等には見学時や入所時などに配布して周知されている。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 関係会議等で地域での特徴・変化等情報収集に努め、社会福祉事業全体の動向についても把握している。 今後は、より一層幅広く施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析できるよう取組みに期待したい。		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 施設開設3年目であるため、幹部会を通じて職員全員での課題把握と同時に、改善に向けての取組みがされているところである。 今後は、専門職の確保等、把握された課題の解決に向けてより一層の充実した取組みが望まれる。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>中・長期的なビジョンや計画に当たるものが散見されるが、明確な計画が策定されているとまでは言えない。</p> <p>理念や基本方針に基づく中・長期計画を、財政面も考慮しながら系統だてて策定されるよう期待したい。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>単年度の計画については「事業継続計画」として示されているが、中・長期計画と系統だてて単年度計画を明確に策定するよう望みたい。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>「幹部会」と「職員会議」を通じて職員の参画や周知が図られている。</p> <p>今後は、さらに職員の参加意識を高め、各計画の実施状況について評価・見直しの時期や職員や子ども等の意見を取り入れるなどの仕組みが構築されることが望まれる。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>年2回の家庭通信や面会等の個別の機会を利用して、保護者への説明・周知に努めている。</p> <p>現在の周知内容は、施設の移転に伴う情報や状況報告に偏り気味であるため、今後は、幅広い内容の周知が期待される。</p>		

I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>幹部会と小規模グループケアの単位の「ホーム会」を柱にした組織で協議したり、マニュアルの検討等を行い向上に向けた取組みを行っている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>施設移転後の課題の解決に努めており、引き続き一層の取組みが期待される。</p>		

評価対象Ⅱ 施設の運営管理

Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・ b ・c
<コメント> 組織図やマニュアル類などに役割や責任が記載され、職員にも配布されている。 今後は、外部に向けた広報誌等への記載の検討をするなど望みたい。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a ・b・c
<コメント> 運営指針や関係法令、施設長対象会議などから知識や情報の収集に努め、それを施設内連絡網で職員にも提供するなどの取組を行っている。		
Ⅱ-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・ b ・c
<コメント> 養育・支援マニュアルを職員全員に配布し、適宜情報を施設内連絡網で流したり、施設内研修にも取り上げている。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・ b ・c
<コメント> 半期ごとに職員面談を行い、希望等を聴取し人員配置に反映するなど実行性向上に努めている。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・ b ・c
<コメント> ハローワークへの求人登録や施設実習を通じて必要な人材確保に努めている。 しかし、予定通りに確保しにくい状況もあるため、必要な福祉人材の確保と合わせて、人材を育成するなど一層の取組を期待したい。		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a ・b・c
<コメント> 求める人材像、給与、評価等人事関係を記載した法人の「ようこそファイル」を職員全員に配布し、総合的な人事管理を実施している。		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・ b ・c
<コメント> 定期的に職員面談を行い職員の状況把握に努め、必要な説明を行う等好ましい職場づくりの取組が見られる。		

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>年度毎に各自が目標を設定し、定期的な面談などを通して現場責任者、施設責任者が管理に当たっている。</p> <p>今後は、設定した目標の進捗状況や達成度の確認が行えるような仕組みづくりや取組みが期待される。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>期待される職員像や専門技術や専門資格を明示し、計画的な研修への参加や資格取得に努めている。</p> <p>今後は、研修成果の評価や見直しを行い、その結果を踏まえて次の研修計画を策定するなど、職員教育の一層の充実が望まれる。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>職員一人ひとりの希望も参考にしながら研修の機会を確保し、職員の養成に努めている。</p>		
II-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>実習マニュアルが策定されている。実習の担当者を定めて、専門職の教育・育成に努めている。</p> <p>今後は、実習生の学習領域に即した効果的な実習プログラムの策定や、実施状況について学校等との連携を密にとるなど対応力の拡充が望まれる。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>法人ホームページで事業、財務等に関する情報が公開されている。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>事務、経理、取引等について内部監査を実施している。法人や法人内の他施設では外部監査を実施しているが、当施設としての実施はこれからである。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>地域交流事業のほか、地域の清掃活動や古紙回収に参加したり、保育所・老人施設訪問などを行い交流を図っている。</p>		

24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・ ② ・c
<p><コメント> ボランティア受け入れマニュアルを作成し基本姿勢は明示されているが、受け入れについては施設や子どもへの理解を得るために地域への周知に努めるよう、今後の取組みが望まれる。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・ ② ・c
<p><コメント> 関係機関との定期連絡会や必要に応じた連携が行なわれている。 今後は、当該地域の関係機関・団体について、機能や関係の把握にも役立てるためにも体系的にリスト化するなどの取組みに期待したい。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 施設が有する機能を地域に還元している。	a・ ② ・c
<p><コメント> 地域行事に場所を提供したり、職員が民生委員研修の講師を務めたりするが、新設間もないこともあって機会は少なく、今後一層の取組みが期待される。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・ ② ・c
<p><コメント> 行政とショートステイ契約を交わし受け入れ準備を整えているが、実績はまだない。広報等に努め、施設機能を必要とする利用者に情報が行き届くよう今後の取組みに期待したい。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	① ・b・c
<p><コメント> 養育・支援マニュアルや権利ノートを整備している。行事計画にあげられた施設内研修などにより職員の共通理解を図っている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援提供が行われている。	a・ ② ・c
<p><コメント> 個室処遇や権利ノートの活用と共に、人権擁護・虐待マニュアル等が整備されている。 プライバシー保護や人権擁護は図られているため、今後は、プライバシーとその保護規程を作成しより一層の取組みに期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(2) 養育・支援の提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・ ② ・c
<p><コメント> 「施設のくらし」やパンフレットを用いて情報提供がされている。パンフレットの更新や小規模処遇や生活の具体的な説明を加える等の工夫が望まれる。</p>		

31	Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a・ b ・c
<p><コメント> 「入所措置児受け入れマニュアル」を作成し、それに基づいて説明を行っているが、必要事項に即した同意書様式やマニュアルの記載事項の整備が望まれる。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント> 必要に応じて引き継ぎ事項を文書化すると同時に口頭で引き継いでいる。引き継ぎ手順や引き継ぎ文書様式の作成などによる継続性の向上が望まれる。</p>		
Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント> ホーム会で、子どもの意見を尊重して取り決めを行い、満足が高まるよう努めている。</p>		
Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・ b ・c
<p><コメント> 苦情解決の体制は整っているが、子どもや保護者等に苦情解決の仕組みをわかりやすく説明しているとまでは言えない。 今後は、わかりやすく説明ができるよう資料を用意するなど、周知方法の充実を望みたい。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a・ b ・c
<p><コメント> 小規模化の利点を生かし、職員と子どもの日常的接触の中で意見の聴取や迅速な対応、細やかな対応が図られている。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ b ・c
<p><コメント> 意見箱やホーム会などで把握したものを、職員会や代表者会議で取り上げ検討しているが、対応方法の仕組みの整備が望まれる。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a ・b・c
<p><コメント> リスクマネジメントマニュアルと安全管理マニュアルを定め、体制を構築しヒヤリハット・事故報告、教育・訓練などについて対応している。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a ・b・c
<p><コメント> 感染症マニュアルを整備し対応の体制を整え、食中毒や感染症等について季節に合わせて施設内研修を行うなどの取組を行っている。</p>		

39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	㉑・b・c
<p><コメント> 災害対策を事業継続計画書や防災マニュアルとして定め、食料等の備蓄や定期的避難訓練を行い安全確保に取り組んでいる。</p>		

Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が提供されている。	㉑・b・c
<p><コメント> 養育・支援マニュアルを作成し、それに基づいた養育・支援が行われている。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・㉑・c
<p><コメント> 必要に応じて見直しは行われているが、時期や方法についての仕組みが十分確立しているとは言えない。 今後は、見直しについての時期を定め、定期的に見直されるよう期待したい。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより支援実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な支援実施計画を適切に策定している。	㉑・b・c
<p><コメント> アセスメントにもとづく個別的な養育・支援実施計画を適切に策定している。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に支援実施計画の評価・見直しを行っている。	a・㉑・c
<p><コメント> 年に2回見直しが行われている。 今後は、子どもの意向把握と同意を得るための手順や、見直しの手順等を定めるよう取組みに期待したい。</p>		
Ⅲ-2-(3) 養育・支援実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a・㉑・c
<p><コメント> 定められた様式で記録され職員会等で共有化が図られている。 今後は、共有する情報とその範囲を定める等、適切に支援実施状況を共有するために検討されることを期待したい。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・㉑・c
<p><コメント> 記録の管理、保管は適切に行われているが、子どもの記録に関する管理規定の策定が望まれる。</p>		

内容評価基準（41項目）

※「共通評価基準評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施」の付加項目

A-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
A-1-(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮		
A①	A-1-(1)-① 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>養育・支援マニュアルや厚生労働省による施設運営ハンドブックに基づき、職員会などを通じて共通意識を持ち養育・支援に努めている。</p>		
A②	A-1-(1)-② 子どもの発達段階に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>子どもの気持ちを尊重しながら、児童相談所などの関係機関と連携を図り慎重に対応している。</p>		
A-1-(2) 権利についての説明		
A③	A-1-(2)-① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>権利ノートを使って、ホーム単位で児童週間に学習会を行い、子ども間でトラブルが生じた際などにも理解を深めるよう努めている。</p>		
A-1-(3) 他者の尊重		
A④	A-1-(3)-① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	a・㉑・c
<p><コメント></p> <p>養育・支援マニュアルに子ども間のトラブルや暴力への対応方法を記載している。小規模処遇の利点を活かした対応に努めるとともに、法人内の老人施設や障害者施設への訪問・交流を行っており、生活体験の一層の拡充が期待される。</p>		
A-1-(4) 被措置児童等虐待対応		
A⑤	A-1-(4)-① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	㉑・-・c
<p><コメント></p> <p>研修等を通じて不適切な対応の防止に努めている。</p> <p>今後も、被措置児童等虐待防止に向けてのマニュアル作りやチェックリストの作成などを通して、子どもに寄り添った対応を、より一層行うよう期待したい。</p>		
A⑥	A-1-(4)-② 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・㉑・c
<p><コメント></p> <p>就業規則が策定されているが、子どもに対するものに特化した内容の追加が望まれる。</p>		

A⑦	A-1-(4)-③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a・ b ・c
<p><コメント> 人権擁護・虐待対応マニュアルを整備し、研修にも取り上げて対応している。外部からの通報に限らず、内部からの通報も想定するなど改訂が望まれる。</p>		
A-1-(5) 思想や信教の自由の保障		
A⑧	A-1-(5)-① 子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障している。	a ・b・c
<p><コメント> 「入所措置児童受け入れマニュアル」へ宗教について確認するよう記載し、共同生活に支障が生じないよう配慮すると同時に思想や信教の自由を保障するよう配慮している。</p>		
A-1-(6) 子どもの意向や主体性への配慮		
A⑨	A-1-(6)-① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	a ・b・c
<p><コメント> 入所前の施設見学を受け入れたり、必要に応じて施設職員が児童相談所に面会に出向くとともに、施設のパンフレットや「ひまわりの家のくらし」で施設や入所後の生活の紹介をするなどで不安解消を図り、入所児歓迎の「ようこそ会」を催している。</p>		
A⑩	A-1-(6)-② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	a ・b・c
<p><コメント> ホーム会で子どもとの意見交換を行うなど、子どもの意向を尊重しながら取り決めるよう努めている。</p>		
A-1-(7) 主体性、自律性を尊重した日常生活		
A⑪	A-1-(7)-① 日々の暮らしや、余暇の過ごし方など健全な生活のあり方について、子ども自身が主体的に考え生活できるよう支援している。	a ・b・c
<p><コメント> 施設全体の行事のほかは、ホーム単位で子どもが検討、計画した行事や余暇の過ごし方など、子どもの主体的生活の支援に努めている。</p>		
A⑫	A-1-(7)-② 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	a ・b・c
<p><コメント> 年齢に合わせて小遣いの管理形態を工夫し、金銭感覚や適切な使い方などが身につくよう支援している。</p>		
A-1-(8) 継続性とアフターケア		
A⑬	A-1-(8)-① 家庭復帰にあたって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう復帰後の支援を行っている。	a・ b ・c
<p><コメント> 主に、家庭支援専門相談員と子どもの担当者が支援に当たり、退所後は施設の催し物へ招いたり、電話等で状況を把握して支援に努めている。 今後は、支援の方法をさらに明確化し、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう、取組みに期待したい。</p>		

A⑭	A-1-(8)-② できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	a・ b ・c
<p><コメント> 個々のケースに応じて養育現場としての所見を関係機関に示し、適切に継続支援を行うよう努めている。</p>		
A⑮	A-1-(8)-③ 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a・ b ・c
<p><コメント> 退所後必要になる制度や手続きなどについてのガイダンスや支援等に努めているが、施設全体での支援体制の整備が期待される。</p>		

A-2 養育・支援の質の確保

A-2-(1) 養育・支援の基本		
A⑯	A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	a・ b ・c
<p><コメント> 小規模処遇で一人ひとりの子どもとの接触の多さを活かし、子どもの感情や言動を細やかに受け止めるよう努めている。</p>		
A⑰	A-2-(1)-② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a・ b ・c
<p><コメント> ホーム単位で、子どもに合わせたルールを定めるなど過剰な管理や干渉、放任が生じないよう養育・支援がなされている。</p>		
A⑱	A-2-(1)-③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a ・b・c
<p><コメント> 小規模処遇により、タイミングよく適度な指導をすることで自主性や規範性を育てるよう努めている。</p>		
A⑲	A-2-(1)-④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	a・ b ・c
<p><コメント> 携帯電話やスマホの使用を年齢に応じた許可制にしたり、高校生にはアルバイトを奨励するなどして年齢に応じた自覚を育てている。 ボランティアによるダンス指導や外部講師によるピアノレッスン、家庭教師による学習なども行っている。</p>		
A⑳	A-2-(1)-⑤ 秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a ・b・c
<p><コメント> 小規模処遇により職員と子どもとの接触、会話が多くなり、それらを通して生活技術の習得支援が充実している。</p>		
A-2-(2) 食生活		
A㉑	A-2-(2)-① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	a ・b・c
<p><コメント> 小規模処遇のため、食事時間の設定等が事情に合わせて調整しやすく、家庭の食事に近づくよう努めている。</p>		

A⑳	A-2-(2)-㉒ 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	㉒・b・c
<p><コメント> 入所時に食物アレルギーを確認し事故を予防している。食事アンケートをとり、要望や嗜好にこたえるよう努めている。</p>		
A㉓	A-2-(2)-㉓ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	a・㉓・c
<p><コメント> 小規模処遇を活かし、子どもがキッチンに立つことを多くして調理経験をさせるよう努めている。 将来、子どもが自立した際に困ることがないように可能な限り多くの体験をさせる機会をつくるなど、今後の取組みに期待したい。</p>		
A-2-(3) 衣生活		
A㉔	A-2-(3)-㉑ 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	㉑・b・c
<p><コメント> 年間の被服費を定め、職員と外出しその範囲で子どもが選択・購入して、個室で各自管理している。</p>		
A-2-(4) 住生活		
A㉕	A-2-(4)-㉑ 居室等施設全体がきれいに整美されている。	㉑・b・c
<p><コメント> 施設全体が整備され、各ホーム独自に装飾を施し、それぞれ清掃方法などを定め、個室は自己管理としている。</p>		
A㉖	A-2-(4)-㉒ 子ども一人ひとりの居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	㉒・b・c
<p><コメント> 小規模・個室化により、一人ひとりの居場所と共同スペースが適度に確保されている。</p>		
A-2-(5) 健康と安全		
A㉗	A-2-(5)-㉑ 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	㉑・b・c
<p><コメント> 「ひまわりの家のくらし」に子ども向けの健康管理を記載し、職員は養育・支援マニュアルに基づき支援している。</p>		
A㉘	A-2-(5)-㉒ 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	㉒・b・c
<p><コメント> 主に、歯科を含めた年1回の健診や学校の健診で管理し、嘱託医や併設の施設の看護師の協力のほか、必要に応じて医療機関を利用して対応している。</p>		
A-2-(6) 性に関する教育		
A㉙	A-2-(6)-㉑ 子どもの年齢・発達段階に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a・㉑・c
<p><コメント> 職員が研修会などで学習し教材を利用するなどして、性についての正しい知識を習得できるよう指導をしている。 今後は、保健師等の外部講師を招いての職員向け・子ども向けの学習会などを実施するよう期待したい。</p>		

A-2-(7) 自己領域の確保		
A③⑩	A-2-(7)-① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>小規模・個室化により、個人所有のものは各自自室で管理できている。</p>		
A③⑪	A-2-(7)-② 成長の記録（アルバム等）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>各自の写真アルバムを作成しており、身体の発育記録や幼稚園・学校生活記録の保存なども合わせて行えるよう検討がなされている。</p>		
A-2-(8) 行動上の問題及び問題状況への対応		
A③⑫	A-2-(8)-① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a・㉒・c
<p><コメント></p> <p>職員間で情報を共有し、子どもの特性に応じて児童相談所や医療機関の協力を得て対応している。</p> <p>今後も、暴力や不適切な行動をとる子どもへの対応だけでなく、一緒に生活して被害を受けた子どもへの適切な対応がなされ、子どもが安心して生活が営めるよう、より一層の取組みに期待したい。</p>		
A③⑬	A-2-(8)-② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a・㉒・c
<p><コメント></p> <p>対応マニュアルを作成するとともに、警察による講話や権利ノートを活用して子どもの意識啓発にも努めている。予防対応に一層の取組みを期待したい。</p>		
A③⑭	A-2-(8)-③ 虐待を受けた子ども等、保護者等からの強引な引取りの可能性がある場合、子どもの安全が確保されるよう努めている。	a・㉒・c
<p><コメント></p> <p>出入り口をオートロックにするなど設備面での対応や、児童相談所から情報を得て職員全員で適切な対応ができるよう体制が整えられている。</p> <p>今後も、様々な場面を想定した対応方法を職員間で共有すると共に、関係機関との連携を図り、子どもの安全が確保されるよう、より一層の取組みに期待したい。</p>		
A-2-(9) 心理的ケア		
A③⑮	A-2-(9)-① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a・㉒・c
<p><コメント></p> <p>嘱託医（児童精神科）の支援によりケアを行っているが、心理療法担当職員の配置が望まれる。</p>		
A-2-(10) 学習・進学支援、進路支援等		
A③⑯	A-2-(10)-① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>家庭教師を利用するなどにより学習支援を行うと同時に、公・私立、特別支援学級・学校など幅広い学習の場での学習を支援している。</p>		
A③⑰	A-2-(10)-② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	㉑・b・c

<p><コメント> 進学・卒業期に支援金制度の説明をしたり、高校1年時からハローワークの情報に触れる機会を設けたりして情報提供し、進路の自己決定を支援している。</p>		
A③⑧	A-2-(10)-③ 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a・b・c
<p><コメント> コンビニやスーパーマーケットでのアルバイトを実施している。 今後、より多くの体験先の開拓を行うと共に適切な実施が期待される。</p>		
A-2-(11) 施設と家族との信頼関係づくり		
A③⑨	A-2-(11)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a・b・c
<p><コメント> 家庭支援専門相談員を中心に、子どもの担当職員と連携し、保護者通信なども利用して家族との関係づくりに努めている。</p>		
A-2-(12) 親子関係の再構築支援		
A④⑩	A-2-(12)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・b・c
<p><コメント> 家庭支援専門相談員を配置し、子どもの担当職員と連携して支援に努めている。 今後は、親子生活訓練室を活用しながら、より積極的な取り組みが期待される。</p>		
A-2-(13) スーパービジョン体制		
A④⑪	A-2-(13)-① スーパービジョンの体制を確立し、施設の組織力の向上に取り組んでいる。	a・b・c
<p><コメント> 嘱託医師やホーム長がスーパーバイザーの役割を果たしているが十分に機能しているとまでは言えない。 今後は、スーパーバイズ体制を確立するとともに、職員相互に評価・助言し合うなどのチーム支援の推進を図るなど、機能的な体制の整備が望まれる。</p>		